



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月26日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東
 コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹見 嘉洋 TEL 03-5765-7744
 四半期報告書提出予定日 2023年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,413	△0.0	1,354	△18.5	1,341	△19.2	829	△21.0
2022年3月期第3四半期	9,414	0.3	1,660	△6.4	1,660	△6.9	1,050	△9.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 885百万円 (△20.4%) 2022年3月期第3四半期 1,112百万円 (△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	33.35	—
2022年3月期第3四半期	42.24	—

(注) 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。
 これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	12,745	10,867	82.1	420.87
2022年3月期	12,440	10,371	80.5	402.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,465百万円 2022年3月期 10,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,590	9.5	2,080	1.2	2,070	0.9	1,320	0.8	53.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	28,057,400株	2022年3月期	28,057,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,191,062株	2022年3月期	3,191,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	24,866,338株	2022年3月期3Q	24,866,338株

(注) 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。
これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症関連では、第7波、第8波と感染の再拡大はあったものの、通勤通学等の移動需要は回復し、社会生活は平常化が進みました。一方で、ウクライナ情勢の悪化に伴う資源価格の高騰や、円安の進行等からスタグフレーションへの懸念が顕在化しており、個人消費動向や企業収益における不確実性が高い状況となっております。

インターネット関連業界においては、オフィス回帰の動きもあり、テレワークへの関心は相対的に低下したものの、コロナ環境下で広まったデジタルトランスフォーメーション（DX）のトレンドは継続しており、ビジネスモデルの変革や販売、効率化等、多くの側面においてデジタル化への関心は高い状態にあります。

こうした環境下、当社グループは動画ソリューション事業において、各種イベントのインターネットライブ配信や、社内情報共有・教育等のオンデマンド動画配信ニーズに対応し、主力サービスである「ライブ中継サービス」や「J-Stream Equipmedia」を中心に提供を進めました。主力である製薬業界のWEB講演会の他、バーチャル株主総会、社内情報共有の動画利用や、コンテンツビジネスを展開する企業等の需要に応える営業活動、技術開発を行いました。

販売面においては、戦略市場を、医薬業界のEVC（Enterprise Video Communication）領域、医薬以外の金融等各種のEVC領域、放送メディア・コンテンツ業界を中心としたOTT領域と3区分して営業活動を実施しております。

EVC領域（医薬）においては、主力となるWeb講演会用途のライブ配信や、イベント実施に伴う集客や諸手配といった領域において、製薬企業のDX展開推進に伴う受注は継続しております。日本の医薬品市場の成長が諸国のそれを下回る状況が続いている中、主力顧客の販売促進活動のペースダウンが影響し、累計では前年同期に及ばない結果となりました。しかしながら、イベントが多く行われる時期にあたり、繁忙期である第3四半期連結会計期間においては、新たに営業開拓を進めた顧客を含めて、前年同期を大きく上回る受注が得られました。

EVC領域（医薬以外）においては、販売促進用途の売上は、コロナ禍沈静化に伴うリアルイベントの増加に伴い前年同期比若干減少しました。バーチャル株主総会関連は、集中期である第1四半期連結会計期間において、想定には及ばない水準ではありましたが取扱件数が増加しました。その他、金融企業向けウェブ開発案件の大口受注があった他、学会のライブ配信を含む情報共有目的の動画利用が安定して推移した結果、この領域は前年同期を上回る推移となりました。

OTT領域においては、放送業界におけるコンテンツ配信向けシステム開発、ウェブサイト運用や関連するWEB制作業務、配信ネットワーク売上が中心となりました。第3四半期連結会計期間においては、専門チャンネル事業者向けのシステム開発や、放送局向けシステム開発において大口の納品を実施しました。加えて連結子会社においても放送局向けに大口の機器売上があり、累計でも前年度を上回る水準の推移となりました。

費用面においては、サービス開発推進に伴い業務委託費用支出が増加した他、システム開発系の売上が増加したことに伴い外注費が若干増加しました。開発体制充実のための社内制度の充実と採用施策の強化を継続的に行っており、従業員増に伴い労務費や求人費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高9,413百万円（前年同期比0.0%減）、連結営業利益1,354百万円（前年同期比18.5%減）、連結経常利益1,341百万円（前年同期比19.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益829百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加しました。これは主に現金及び預金が減少したものの、預け金、仕掛品、その他に含まれる前払費用の増加によるものであります。

固定資産は2,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加しました。これは主にソフトウェア及び投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、総資産は12,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円増加しました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は１，６４７百万円となり前連結会計年度末に比べ１７８百万円減少しました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。固定負債はリース債務の減少等により２３０百万円となり前連結会計年度に比べ１１百万円減少しました。

この結果、負債合計は１，８７８百万円となり、前連結会計年度末に比べ１９０百万円減少しました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は１０，８６７百万円となり、配当金の支払により３７２百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益８２９百万円計上したこと等により前連結会計年度末に比べ４９５百万円増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

２０２２年４月２７日に公表の連結業績予想から修正はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,290,446	4,349,815
受取手形、売掛金及び契約資産	2,429,338	2,442,874
商品及び製品	60,234	122,533
仕掛品	151,848	243,250
預け金	—	2,800,000
その他	274,455	396,355
貸倒引当金	△2,626	△1,643
流動資産合計	10,203,697	10,353,186
固定資産		
有形固定資産	561,511	563,824
無形固定資産		
のれん	221,791	161,997
ソフトウェア	1,000,961	1,110,800
その他	6,918	7,144
無形固定資産合計	1,229,671	1,279,942
投資その他の資産		
投資有価証券	105,349	210,066
繰延税金資産	97,233	73,074
その他	248,780	273,086
貸倒引当金	△6,218	△7,939
投資その他の資産合計	445,144	548,288
固定資産合計	2,236,327	2,392,055
資産合計	12,440,025	12,745,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,574	2,270
1年内返済予定の長期借入金	1,686	—
未払金	676,207	658,127
未払法人税等	356,664	127,974
賞与引当金	87,749	67,834
その他	652,361	791,543
流動負債合計	1,826,243	1,647,750
固定負債		
退職給付に係る負債	18,696	18,521
資産除去債務	96,243	96,583
その他	127,292	115,332
固定負債合計	242,231	230,436
負債合計	2,068,474	1,878,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	3,899,515	3,899,515
利益剰余金	4,232,907	4,689,125
自己株式	△306,115	△306,115
株主資本合計	10,008,686	10,464,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	457	663
その他の包括利益累計額合計	457	663
非支配株主持分	362,406	401,486
純資産合計	10,371,550	10,867,054
負債純資産合計	12,440,025	12,745,241

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,414,817	9,413,775
売上原価	5,320,793	5,557,428
売上総利益	4,094,023	3,856,347
販売費及び一般管理費	2,433,393	2,502,143
営業利益	1,660,630	1,354,204
営業外収益		
受取利息	2	7,434
その他	5,117	5,400
営業外収益合計	5,119	12,834
営業外費用		
支払利息	2,964	2,682
為替差損	1,735	19,170
その他	124	3,222
営業外費用合計	4,824	25,075
経常利益	1,660,924	1,341,963
特別損失		
固定資産除却損	722	0
特別損失合計	722	0
税金等調整前四半期純利益	1,660,201	1,341,962
法人税、住民税及び事業税	478,907	432,411
法人税等調整額	69,322	24,067
法人税等合計	548,229	456,479
四半期純利益	1,111,972	885,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	61,724	56,270
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,050,247	829,212

(四半期連結包括利益計算書)

(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,111,972	885,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176	206
その他の包括利益合計	176	206
四半期包括利益	1,112,148	885,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050,424	829,418
非支配株主に係る四半期包括利益	61,724	56,270

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。